

「多文化共生」を考える研修会2017 開催結果

1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会が多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

2 主催

(公財)兵庫県国際交流協会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市

3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
8月21日（月）国際健康開発センター 会議室1			
総論	13:30～13:35	主催者あいさつ	(公財)兵庫県国際交流協会 副理事長 多木 和重 (特非)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣 吉
	13:35～15:00	純ジャパとのたたかい ～ステレオタイプが生み出す他者理解の落とし穴～	サンドラ・ヘフェリン(コラムニスト)
	15:15～16:45	歴史に学ぶ ～国と国の架け橋として生きた人たち～	江宮 隆之(作家)
8月23日（水）海外移住と文化の交流センター ホール			
外国にルーツを持つ子どもの教育	13:30～15:00	外国籍児童就学前学校体験教室「ぴよぴよクラス」 及び就学後教育支援	掘 永乃(一般社団法人グローバル人材サポート浜松代表理事) 成岡 優輝(Wide International Support in Hamamatsu代表、静岡文化芸術 大学2年)
	15:15～16:45	大阪府における高校特別入学枠の変遷と入学後の支援	橋本 義範(NPO法人おおさか子ども多文化センター事務局長) 白石 素子(大阪府立門真なみはや高等学校教諭)
8月25日（金）国際健康開発センター 会議室1			
多様性を理解するために必要なこととは	13:30～15:00	共生と日本語教育	山野上 隆史(公益財団法人とよなか国際交流協会事務局長)
	15:15～16:45	多文化社会に向けた市民性教育 ～オーストラリアと日本の取り組みが示唆するもの～	見世 千賀子(東京学芸大学国際教育センター准教授)
8月28日（月）国際健康開発センター 会議室1			
海外・日本の移民と国民の状況	13:30～15:00	ベトナムから見る技能実習制度と実態	斉藤 善久(神戸大学大学院准教授)
	15:15～16:45	ヨーロッパにおける多文化主義の“失敗”から、 日本の目指すべき国家像を考える	谷口 功一(首都大学東京法学系教授)